

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	農業振興センター事業	会計	一般会計	事業No.	380	施策順No.	11-005
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-3-20-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	農業課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	14	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①市内農業者②農業者以外の市民 ＜負担金支出先＞飯田市農業振興センター						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		農業就業者数(国勢調査:単位:人)		6309	6309	6309	6309	
		農業就業者以外の市民(単位:人)		100234	100200	100200	100200	
意図	関係団体及び地域団体と連携して、農業振興して①農産物を販売拡大してもらう、農業生産を維持・拡大してもらう、集落営農に取り組んでもらう、作業支援人材を受け入れてもらう②農作業を支援してもらう							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	連携して取り組んだ事業	7	8	8	11	13	12	A
	遊休農地再生活動面積(ha)			3.3	3.3	3.3	3.4	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評定しない】	各農協、行政機関、NPO法人等と連携し当地域の基幹的農業形態である果樹栽培の生産基盤を再構築させるための事業、特にリンゴの新技術や遊休農地再生生活用支援事業や地域支援事業を行う。また、地域では、そば、大豆、鷹の爪とのモデル圃場を地区振興会議が行い、遊休農地の再生生活用を実践した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯田市農業振興センター運営事業負担金 農業振興センターは行政、農協、農業委員会等の農業関連の団体が連携して飯田市の農業・農村振興を目的とした方針の策定、連絡調整を行うとともに参画団体であるNPO法人みどりの風が取り組むモデル農園整備、地域での農業振興活動等への支援を行う。また振興センターは担い手育成総合支援協議会として認定農業者の経営発展の支援や集落営農組織の組織化等、地域における担い手育成・確保に向けた取り組みを行うとともに耕作放棄地対策協議会として農地バンクを活用し農地の効率的な利用を進め耕作放棄地の増加防止に取り組む。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 農地再生生活用支援事業 NPO法人みどりの風との協働による果樹新技術導入支援事業 地区・グループによる遊休農地解消事業の支援等	1 支援団体数 2 広報回数 3 支援地区数 4 認定農業者数 5 貸し借り成立件数・面積	1 15団体 2 30回 3 16地区 4 270経営体 5 5件、30a
	2 農産物販売拡大支援事業 広報、HPを活用した情報発信等 3 地域営農支援事業 各地区農業振興会議活動への支援等 4 担い手育成総合支援協議会 経営改善支援計画の作成支援、新規就農者への支援等 5 耕作放棄地対策協議会 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用による耕作放棄地の解消 農地情報を農地バンクに集め利用集積を進める		
23年度実施計画	1 農地再生生活用支援事業 NPO法人みどりの風との協働による果樹新技術導入支援事業、リース農園事業の展開 地区・グループによる遊休農地解消事業の支援等	1 支援団体数 2 広報回数 3 支援地区数 4 認定農業者数 5 貸し借り成立件数・面積	1 15団体 2 30回 3 16地区 4 275経営体 5 8件、50a
	2 農産物販売拡大支援事業 広報、HPを活用した情報発信等 3 地域営農支援事業 各地区農業振興会議活動への支援等 4 担い手育成総合支援協議会 経営改善支援計画の作成支援、新規就農者への支援等 5 耕作放棄地対策協議会 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用による耕作放棄地の解消 農地情報を農地バンクに集め利用集積を進める		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		6,200	6,200	6,200		
計(A)		6,200	6,200	6,200		
正規職員所要時間			2,000			
臨時職員等所要時間			2,000			
人件費計(B)			9,302			
トータルコスト A+B			15,502			

4 事業に対する市民や議会の意見

行政と農協など関係者の連携を密にし農業振興を進めるべきである。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムツ指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	みなみ信州農協、下伊那園芸農協、行政など農業団体が四者協議で効率的かつ効果的に課題解決、企画実践ができるように、合同事務所の設置によりJAみなみ信州とともに連携して事業を展開してきた。農産物の販売拡大には、いいだ農産物経済拡大プロジェクト、農地・担い手の再構築には、飯田市担い手遊休農地対策プロジェクトなどで検討し、実施主体のNPO法人みどりの風で事業を行った。		
	後期に向けた課題	農地再生活用支援事業の実施主体のNPO法人みどりの風を充実とともに、新たな農業者が経営をスタートできるように経営支援のための研修会や新技術導入した果樹園のあっせんなど、認定農業者の経営拡大など支援として、農地利用調整活動、農作業支援者育成など地域集落内外の連携強化が求められる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	大豆、そば、市田柿剪定等の講習会や新しい化等の新技術導入などモデル事業の実施、農家支援システムの構築、地域探知の振興活動の支援など官民一体に推進してきた。豆・そば栽培支援事業では、旭松食品㈱や丸昌稲垣㈱など連携して商品利用、大豆商品の学校給食等の利用の推進により販売先の確保やコンパインの導入等により、農業者の作業支援を行った。		
	後期に向けた課題	地域農業プランに対する認識を高め、アクションプランを策定する体制作りと支援を継続することにより、成果を高める。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	果樹等新技術導入や特産物の振興など関係する補助事業など導入し、需要拡大に対する経費削減の効果があつた。		
	後期に向けた課題	今後の需要拡大に対する適切な補助事業など導入が必要。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・振興センターによる農業関係機関による農業担い手育成手段は、関係団体だけでなく、地域活性化の観点から、市は積極的に支援する必要がある。 ・人件費の一部が、JAからの出資と出労(1名)で組織が成り立っている現在、市の負担の削減は難しい。		
	後期に向けた課題	関係農業団体との連携強化が必要である。NPO法人みどりの風とともに市は積極的に支援する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①農業者が農産物を販売拡大し、農業生産を維持・拡大して、集落営農に取り組んでもらう、農業者以外の市民を作業支援人材として受け入れてもらう。 ②行政と農協・園協など関係者と連携して、新たな担い手や収益性の確保を推進してきた。		
	後期に向けた課題	食糧自給率の向上など、農業関係者以外の方への理解と積極的参加など働きかけが必要。		
全体を通じて	4年間の振り返り	農業振興センターは、現場合同事務所により、農業関係の団体が相互連携を密にし、地域の実情に即した農業農村振興策を協議・推進してきた。一部の地域では、まちづくり委員会等も巻き込み、活性化にむけて、遊休農地再生活用で大豆やそばのモデル圃場を運営するなど地域のリーダーとしてtiku 農業振興会が活動して農業集落活動の再編と実施がすすんだ。また、コンパインの導入により多くの遊休荒廃農地が解消した。		
	後期に向けた課題	地区農業振興会議支援事業では活発でない地域との格差が拡大したが、今後、農業従事者が減少傾向の現在、隣接する地域などブロック的な範囲での農業集落活動が必要。また、今活躍している一世代若いグループの育成など新たな世代の育成と支援が重要。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--